

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		れぐるすⅡ		公表日		令和 8年 3月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・法令を遵守したスペースを確保しています。 ・お子様が安全に遊べるように機の配置等に		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	2	・法令で必要とされている人数を配置しております。	・利用児の利用状況に応じて職員を増員したり、帰宅時等も職員が手薄にならないよう都度調整をしております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		・ホワイトボードの文字や絵で一日のスケジュール等をお子様たちへ分かりやすく伝えていきます。 ・高い所やには登りにくくするなど安全に配慮 ・おやつや個別の課題のスペースを作ったり、同時に動ける場所を確保しています。毎日消毒や掃除を徹底し、グラウンドはこまめに手入れしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・クールダウンが必要な際に、落ち着ける空間(部屋)が確保されています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	・毎月職員会議を行い、その日に参加できなかった非常勤職員にも議事録や口頭にて周知できるようにしています。	・特に出勤頻度の少ない職員にも周知が徹底できるよう回覧方式等を取り入れます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		・保護者様から頂いた貴重なご意見は職員会議で把握し共有しております。	・その日の意見はその日のうちに聞き取れるようにミーティングのみではなく、日々の意見交換の場を大切にしております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・日々のミーティング等で職員の意見を確認するようにしております。 ・連絡ノートを活用し、自由に記入できる環境を整えております。	・現在実施の予定はありませんが、今後必要に応じて実施を検討しております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・年間計画を作成し、月に1回職員研修を行っています。職場内だけでなく、外部研修も受講しています。	・非常勤職員の研修参加にも積極的に取り組みます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	・5領域に沿った支援プログラムを作成し、当社HPIにて公表しております。	・今後もお子様・保護者様のニーズの把握を常に行い、その都度見直しております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	・個別支援計画作成後に職員間に共有し、計画に沿った支援が行えるように努めています。 ・個人の記録のファイルの表紙に最新の支援	・お子様と関わる職員全員が共通理解の下で療育に入れるようにしております。	
適切な+	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		・保護者様とのモニタリング、アセスメントを行った上で個別支援計画を作成しています。	・出勤時間が異なる職員にも支援計画を把握した状態で支援に入れるよう、日々の療育前の確認や、更新時の共有を行います。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・職員間でカンファレンスを行い、検討した上で作成しています。また支援計画は個人記録のファイルにも掲示いつでも確認できるようにしています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・アセスメントシートには統一したアセスメントシートを使用し、共有ノートを活用しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	・保護者様とのモニタリング、アセスメントを行った上でガイドラインのねらい、支援内容をふまえて設定しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認している	7		・行事や活動に対して、職員間で話し合い内容を共有しながら進めています。	・非常勤職員にも意見を求め、職員全体での立案を行います。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6				

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・5領域に沿ってお子様が楽しめる内容の活動プログラムを作成しています。毎月のおたよりには色分けをして固定化しないように工夫しています。固定曜日利用でも様々な活動に参加できるようになっています。	・職員や関係機関から情報を取り入れながら、様々な経験ができるように計画していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		・アセスメントにて課題を抽出しています。職員間で話し合い、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、個別支援計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・療育前には必ず注意事項の内容の周知や役割分担を確認しています。 ・日案を必ず作成し、療育前に時間ごとの動きやそれぞれの職員の役割分担を確認した上で支援を行っています。	・毎日ミーティングを行い、出勤時間が異なる職員には出勤した際に予定を伝えていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		・職員にて振り返りを行い、反省点や改善点を話しています。退勤時間の異なる職員には療育日誌などをもとに翌日共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・療育日誌や支援経過に必ず記録を残し、日々の反省を活かしながら次回の活動を考えています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・6か月に1回必ずモニタリングを実施し、目標の達成状況と個別支援計画の見直しについて判断しています。	・モニタリング時のみでなく、必要な場合は見直しを行っていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	8		・基本活動を複数組み合わせ、支援を行っています。活動以外にも1日のスケジュールの流れの中に取り組んでいます。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・お子様の興味や課題に合わせた支援内容を提示し、興味を持った上で選択できるように支援をしています。	・常にお子様の状況や関心を意識し、偏った自己決定にならないように丁寧に支援していきます。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・職員同士でお子様の状況を把握し、会議には児童発達支援管理責任者が出席しています。	・今後も積極的に参加し職員同士で共有できるよう記録を残していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・必要に応じて随時対応できるように体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		・保護者様からの情報をもとに、必要時には学校とも連絡を取り、情報共有に努めています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	・児童発達支援事業所と情報共有を行い、事業所の環境設定の参考としています。 ・ご家族を通して情報共有に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	・今年度は該当する利用児はいません。	・今後必要となった際は、保護者様同意の上で支援内容の情報を提供していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	・必要に応じて随時対応できるように体制を整えています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	・秋祭りや歯科イベント等のイベント開催時に、ご兄弟姉妹やご友人にご参加していただけるようにしています。	・今後個別支援計画に位置づけた上で地域の公園へ出かける機会等検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		・事業所連絡会へ参加しています。	・引き続き積極的に参加していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・日々連絡帳や送迎時にその日の療育の様子や今後の課題をお伝えしています。 ・必要に応じて電話等でもその都度情報共有をし、課題について共通理解を持てるようにしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	・ご家族の方も参加できるイベントを行っています。必要に応じて情報提供を行っています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・ご利用契約時に保護者様に対して説明を丁寧に行うように努めています。事業所内には重要事項説明書等の掲示をしています。	・今後変更がある際には、その都度分かりやすい丁寧な説明を心がけていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・モニタリング等で確認し、ご意向を反映できるよう努めています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		・保護者様に支援内容の説明を行い、同意を得たうえでご署名を頂いております。	・今後も分かりやすい丁寧な説明を心がけていきます。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・不安点や困っている事など、その都度対面や電話対応で話し合いを行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4		・年に1回れぐるす合同フェスティバルや歯科イベント等で保護者様やご兄弟の参加のイベントを行っています。	・イベント開催時には保護者様同士の交流の場となるように計画をしています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・苦情窓口を設置し体制を整えるとともに、いただいた苦情に対して迅速かつ適切に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		・インスタグラムや毎月のお便りに、活動の様子を掲載し、保護者様に見ていただけるようにしています。	・今後も個人情報に配慮した上で定期的に発信していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	1	・書類等は鍵付き倉庫で保管するなど、厳守しております。 ・SNSには顔を隠すなどの配慮をしております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・ジェスチャーや絵カード等、個々に合わせた視覚的ツール等も用いて情報伝達を行っている。	・必要に応じてご家族への情報伝達も個々に合わせて配慮していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	・フェスティバルや避難訓練にお友だちや近所の方にも参加していただけるようにしています。	・今後も個人情報に配慮しながら、開かれた事業運営を行っています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・各マニュアルを作成し、職員研修の際に行っています。	・今後も状況に応じてマニュアルを更新し、周知していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・BCPを策定しています。 ・絵本等で分かりやすく知らせた後、年2回以上の避難訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		・契約時に確認しています。 ・服薬等の変更時には確認をし、アセスメントシートを更新しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・契約時にアレルギーの有無を確認し、一覧表等を職員がすぐ確認できるように掲示しています。	・常に情報を新しく更新し、情報共有していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・安全計画を作成し、安全に留意して支援を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・安全計画を事業所内に掲示しています。	・送迎等でなかなか事業所内の掲示物を確認する機会が少ないご家族には、モニタリング時等に周知していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	・常勤非常勤共にヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有し、再発防止に努めています。	・勤務日数の少ない非常勤職員にも、回覧方式を取り入れることで周知していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・児童発達支援管理責任者が虐待研修を受講し、その内容を共有している。 ・虐待防止マニュアルを作成し、事業所内の研修を実施しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		・現在該当する事例はありませんが、やむを得ず行う必要がある場合については、個別支援計画に記載し、事前に保護者様にご説明ご同意の上で実施いたします。		